

## [歯科口腔外科研修の到達目標]

### [研修の目標]

歯科医師免許取得後2年間の初期臨床研修のためのものであり、将来の専門分野に関わらず、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力(態度、技能及び知識)を身に付け、生涯研修の第一歩とすることを目標とする。

### [研修指導医]

内藤 克美(口腔顎顔面センター長)

指導医：日本口腔外科学会 日本有病者歯科医療学会 歯科医師臨床研修指導医

専門医：日本口腔外科学会 日本有病者歯科医療学会

その他：朝日大学歯学部非常勤講師 京都府立医科大学客員講師 歯学博士

インфекションコントロールドクター

齧島 桂子(歯科口腔外科部長)

指導医：日本有病者歯科医療学会 歯科医師臨床研修指導医 日本障害者歯科学会

専門医：日本小児歯科学会、日本有病者歯科医療学会

認定医：日本障害者歯科学会 ドライマウス研究会

その他：歯学博士

松本歯科大学臨床教授

インфекションコントロールドクター

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士

日本救急医学会認定 ICLS 基礎コースインストラクター

### [研修のねらい]

- ①歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
- ②全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- ③歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身に付ける。
- ④一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- ⑤歯科診療時の全体的偶発事故に適切に対応する。
- ⑥自ら行った処置の経過を観察評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身に付ける。
- ⑦専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
- ⑧歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

### [研修コース]

	歯科口腔外科(計 13 か月)	医科(計 11 か月)
1 年次	歯科基礎Ⅰ 歯科基礎Ⅱ	病理診科 循環器内科
2 年次	口腔外科基礎Ⅰ 口腔外科基礎Ⅱ	麻酔科 救急科 選択科

## 【到達目標】

「基本習熟コース」については研修歯科医師自らが確実に実践できることが基本であり、臨床研修修了後に習熟すべき「基本習得コース」については頻度が高く臨床において経験することが基本である。

### A. 歯科医師臨床研修「基本習熟コース」

#### 【一般目標】

個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

#### (1) 医療面接

##### 【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。

##### 【行動目標】

- ① コミュニケーションスキルを実践する。
- ② 病歴(主訴、現病歴、既往歴及び家族歴)聴取を的確に行う。
- ③ 病歴を正確に記録する。
- ④ 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- ⑤ 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- ⑥ 患者の自己決定を尊重する。(インフォームドコンセントの構築)
- ⑦ 患者のプライバシーを守る。
- ⑧ 患者の心身における QOL (Quality Of Life) に配慮する。
- ⑨ 患者教育と治療への動機付けを行う。

#### (2) 総合診療計画

##### 【一般目標】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。

##### 【行動目標】

- ① 適切で十分な医療情報を収集する。
- ② 基本的な診察・検査を実践する。
- ③ 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- ④ 得られた情報から診断する。
- ⑤ 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- ⑥ 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- ⑦ 一口腔単位の治療計画を作成する。

#### (3) 予防・治療基本技術

##### 【一般目標】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

##### 【行動目標】

- ① 基本的な予防法の手技を実施する。
- ② 基本的な治療法の手技を実施する。

- ③医療記録を適切に作成する。
- ④医療記録を適切に管理する。

#### (4) 応急処置

##### 【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して必要な臨床能力を身に付ける。

##### 【行動目標】

- ①疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- ②歯・口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ③修復物・補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

#### (5) 高頻度治療

##### 【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して必要な臨床能力を身に付ける。

##### 【行動目標】

- ①齲蝕の基本的な治療を実践する。
- ②歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- ③歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- ④抜歯の基本的な処置を実践する。
- ⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

#### (6) 医療管理・地域医療

##### 【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。

##### 【行動目標】

- ①保険診療を実践する。
- ②チーム医療を実践する。
- ③地域医療に参画する。

### B. 歯科医師臨床研修「基本習得コース」

##### 【一般目標】

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技能を習得する態度を養う。

#### (1) 救急処置

##### 【一般目標】

歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。

##### 【行動目標】

- ①バイタルサインを観察し異常を評価する。
- ②服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- ③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。

- ④歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- ⑤一次救命処置を実践する。
- ⑥二次救命処置の対処法を説明する。

## (2) 医療安全・感染予防

### 【一般目標】

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。

### 【行動目標】

- ①医療安全対策を説明する。
- ②医療事故及びヒヤリ・ハットを説明する。
- ③医療過誤について説明する。
- ④院内感染対策(Standard Precautions を含む)を説明する。
- ⑤院内感染対策を実践する。

## (3) 経過評価管理

### 【一般目標】

自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。

### 【行動目標】

- ①リコールシステムの重要性を説明する。
- ②治療の結果を評価する。
- ③予後を推測する。

## (4) 予防・治療技術

### 【一般目標】

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

### 【行動目標】

- ①専門的な分野の情報を収集する。
- ②専門的な分野を体験する。
- ③POS(Problem Oriented System)に基づいた医療を説明する。
- ④EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療を説明する。

## (5) 医療管理

### 【一般目標】

適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

### 【行動目標】

- ①歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ②常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。
- ③適切な放射線管理を実践する。
- ④医療廃棄物を適切に処理する。

## (6) 地域医療

### 【一般目標】

歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。

### 【行動目標】

- ①地域歯科保健活動を説明する。
- ②歯科訪問診療を説明する。
- ③歯科訪問診療を体験する。
- ④医療連携を説明する。